

2章 調査結果の概要

1. 国立・公立学校全体の技能別調査結果

「読むこと」及び「聞くこと」はCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）¹ のA1レベル上位からA2レベル下位に集中している。

「書くこと」の得点者は全体の約70%（無回答者及び0点は29.2%）、「話すこと」の得点者は全体の約85%（無回答者及び0点は13.3%）となっており、課題が大きい。

【国立公立学校全体のスコア分布】

<読むこと>				<聞くこと>				<書くこと>				<話すこと>				
CEFR	得点	Reading	割合	CEFR	得点	Listening	割合	CEFR	得点	Writing	割合	CEFR	得点	Speaking	割合	
B2	320	77	0.2%	B2	320	175	0.3%	B2	140	2	0.0%	B1	14	274	1.7%	
	310	18			310	50			135	0			13	272		
	300	27			300	70			130	3			12	415		
B1	290	37	2.0%	B1	290	68	2.0%	B1	125	7	0.7%	A2	11	501	11.1%	
	280	69			280	109			120	33			10	657		
	270	82			270	126			115	45			9	691		
	260	107			260	160			110	175			8	770		
	250	157			250	227			105	222			7	946		
	240	195			240	256			100	578			6	1185		
	230	317			230	341			95	608			5	1632		
	220	420			220	454			90	1,183			4	1105		
A2	210	561	25.1%	A2	210	615	21.8%	A2	85	946	12.8%	A1	3	1648	87.2%	
	200	778			200	748			80	1,804			2	1450		
	190	1,124			190	992			75	1,736			1	2827		
	180	1,477			180	1,241			70	1,971			0	2,210		
	170	1,956			170	1,731			65	1,816			平均	4.5		
	160	2,610			160	2,199			60	2,347			調査対象	16,583		
	150	3,545			150	2,996			55	1,978			0点	2,210		13.3%
	140	5,245			140	4,034			50	2,516						
A1	130	8,192	72.7%	A1	130	5,438	75.9%	A1	45	2,111	86.5%					
	120	11,790			120	7,684			40	2,417						
	110	12,508			110	8,831			35	1,988						
	100	9,796			100	9,026			30	2,497						
	90	4,698			90	7,840			25	2,080						
	80	1,823			80	5,782			20	2,258						
	70	604			70	3,474			15	2,167						
	60	208			60	2,125			10	2,562						
	50	76			50	920			5	2,913						
	40	51			40	396			0	30,089						
	30	19			30	189			平均	27.2						
	20	2			20	106			調査対象	69,052						
	10	0			10	99			0点	20,134		29.2%				
	0	285			0	352										
平均	129.4	平均	120.3													
調査対象	68,854	調査対象	68,854													

¹ 本調査では、テスト設計上、CEFRのA1～B2までのレベルを「読むこと」及び「聞くこと」は10点刻み、「書くこと」は5点刻み、「話すこと」は1点刻みで設定し、スコア分布の状況を見ることとした。

第2期教育振興基本計画においては、生徒の英語力の目標を、中学校卒業段階：英検3級程度（CEFRのA1レベル）以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度（同A2～B1レベル）以上を達成した中高校生の割合が50%としている。

2. 公立学校の技能別調査結果及び課題と指導改善のポイント

「読むこと」及び「聞くこと」はCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のA1 レベル上位から A2 レベル下位に集中している。

「書くこと」の得点者は全体の約 70%（無回答者及び 0 点は 30.4%）、「話すこと」の得点者は全体の約 85%（無回答者及び 0 点は 14.0%）となっており、課題が大きい。

【公立学校のスコア分布】

<読むこと>				<聞くこと>				<書くこと>				<話すこと>			
CEFR	得点	Reading	割合	CEFR	得点	Listening	割合	CEFR	得点	Writing	割合	CEFR	得点	Speaking	割合
B2	320	14	0.0%	B2	320	55	0.1%	B2	140	0	0.0%	B1	14	166	1.0%
	310	3			310	18			135	0			13	193	
	300	7			300	30			130	0			12	330	
B1	290	11	1.2%	B1	290	29	1.2%	B1	125	2	0.3%	A2	11	418	9.5%
	280	34			280	51			120	6			10	559	
	270	36			270	67			115	10			9	621	
	260	47			260	82			110	59			8	718	
	250	82			250	120			105	101			7	898	
	240	108			240	158			100	306			6	1143	
	230	188			230	219			95	420			5	1602	
A2	220	272	23.5%	A2	220	316	20.3%	A2	90	829	10.7%	A1	4	1085	89.5%
	210	404			210	444			85	737			3	1629	
	200	556			200	562			80	1,465			2	1444	
	190	854			190	835			75	1,525			1	2816	
	180	1204			180	1043			70	1,752			0	2210	
	170	1707			170	1500			65	1,668			平均	42	
	160	2367			160	1992			60	2,169			調査対象	15,832	
A1	150	3324	75.3%	A1	150	2790	78.4%	A1	55	1,876	89.1%	0点	2,210	14.0%	
	140	5031			140	3857			50	2,400					
	130	7989			130	5268			45	2,039					
	120	11631			120	7526			40	2,346					
	110	12396			110	8713			35	1,940					
	100	9740			100	8936			30	2,441					
	90	4663			90	7788			25	2,045					
	80	1813			80	5734			20	2,226					
	70	598			70	3449			15	2,151					
	60	206			60	2110			10	2,529					
	50	75			50	913			5	2,889					
40	50	40	391	0	29,973										
30	18	30	186	平均	24.9										
20	1	20	103	調査対象	65,904										
10	0	10	94	0点	20,059	30.4%									
0	282	0	332												
平均	126.7			平均	117.1										
調査対象	65,711			調査対象	65,711										

課題と指導改善のポイント (...相当数の生徒ができている点 ...課題のある点)

読むこと

短文レベルの語彙・語法問題の中には、正解率が50%を超えるものもある。

まとまった量の英文の要点を理解すること、英文中から必要な情報を探し出すこと、英文の概要を理解することに課題がある。

生徒質問紙及び教員質問紙の結果では、授業において概要や要点を読み取る活動やその指導を行っているという回答が多いが、調査結果によると、概要や要点を理解することには課題がある。このことから、実際には、生徒がまとまりのある英文を読んで、全体の趣旨をとらえたり重要な点を把握したりする読み方を身に付けていない可能性がある。

指導改善のポイント

学習者のレベルに合った文章をたくさん読む活動を行う。

読む目的(例えば、英文の概要を理解する、英文中から必要な情報を引き出すなど)を明確にし、それに沿って多様な英文を主体的に読む活動を行う。

まとまりのある英文を読んで、全体の趣旨をとらえたり、書き手が一番伝えたい内容は何かを議論したりするような活動を行う。

日頃の評価において、生徒の読む力を的確に把握するため、「指導目標の設定(身に付けるべき読む力の明確化)」と「評価方法の選択」との整合性を図る。

聞くこと

聞き取る英文中に設問で問われている語句が直接示されている場合は、それを認識して正しく理解することができる。

聞き取る英文中の表現とは別の表現が設問で使われている場合は、両者の関連付けに困難がある。

談話の要点や全体の流れ(誰が、どの立場で、どのような意図で、何を話したか)をとらえる力が不足しているため、断片的な理解にとどまっている。

指導改善のポイント

語句や文の表面的な聞き取りだけで終わらせず、聞き取った内容の概要や要点を自分の言葉で言い換えながら話したり書いたりするアウトプット活動を継続的に行う。

キーワードや要点を聞き取り、それらをつないで話のアウトラインを作る活動を行う。

書くこと

聞いた情報の要点を把握して適切に書くこと、適切な表現を用いて書くことに課題がある。

与えられたテーマについて、自分の意見や理由を適切に書くことに課題がある。

指導改善のポイント

聞いたり読んだりした内容について話したり書いたりするなど、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を組み合わせた統合的な言語活動を行う。

与えられたテーマに対する自分の意見に続き、そう思う理由を具体例などを入れながら読み手にわかりやすく書く活動を行う。

意見や理由などを考えるために、ブレンストーミングをしたりアウトラインを作成したりして効率的に文章を構成・作成する活動を行う。

話すこと

与えられた80語程度の英文を、ほぼ適切な発音、リズム、イントネーション、速度、声の大きさで発話することができる。

与えられた質問について、ある程度の準備をして、様々な表現方法を使いながら適切な英語を用いて応答することに課題がある。

指導改善のポイント

聞いたり読んだりした英文の内容について、英語でQ-Aをしたり概要や要点をまとめて話したりすることなどにより、理解の確認を行う。

ペア・ワークやグループ・ワークなどを効果的に導入し、個々の生徒が発話する機会を増やす。

生徒にとってできるだけ興味・関心のある話題・内容を扱うとともに、間違いを気にせず互いに発話できる雰囲気をつくる。

発話については、言語形式よりもやりとりする内容(情報や考えなど)に重点を置く。

発話した内容を書く機会を与え、文法、表現、語彙等について適宜コメントやアドバイスをする。

3. 公立学校の質問紙調査結果

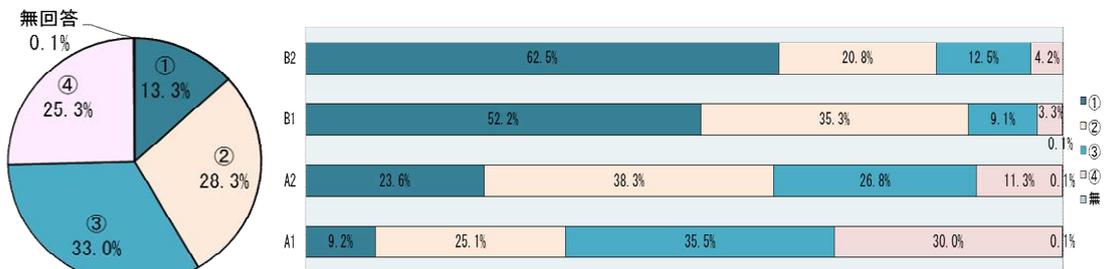
生徒質問紙調査結果の主な特徴

英語学習に対する意識

英語の学習が好きではない生徒が半数を上回る（選択肢 と の合計：58.3%）。特に A1 レベル（最も多くの生徒が含まれるレベル）においてこの傾向が顕著である。

No. 1 英語の学習は好きですか。最も当てはまる選択肢を1つ選んでください。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

将来の英語使用のイメージ

将来の英語使用のイメージが、現在の英語力のレベルによって異なる。

B2、B1 レベルなど英語力が高い生徒ほど、英語を職業（選択肢 ）や学問（選択肢 ）と結びつけたものとして認識している。

A1 レベルの生徒の英語使用イメージは、海外旅行や日常的な会話（選択肢 ） 大学入試（選択肢 ）などにとどまる傾向がある。

No. 2 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい 大学で自分が専攻する学問を英語で学べるようになりたい
 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようにになりたい 海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい 海外旅行などをするとともに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい 大学入試に対応できる力をつけたい
 特に学校の授業以外での利用を考えていない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

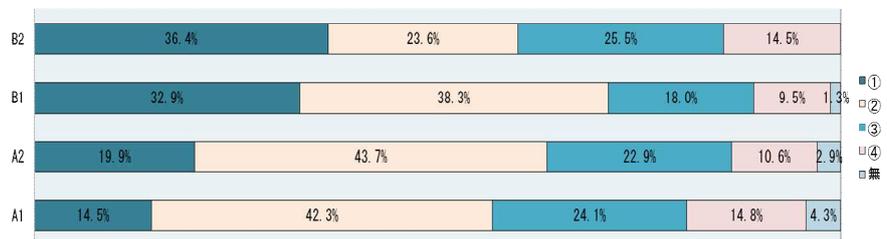
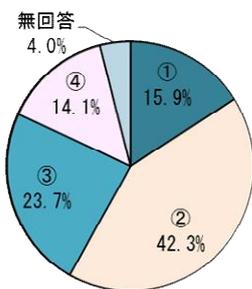
授業（第2学年）における言語活動の経験

<リスニング・リーディングでの概要・要点把握>

英語を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえる活動をしていた生徒は半数を上回る（選択肢 と の合計：リスニング 58.2%、リーディング 67.2%）。

No.10-(2) 第2学年の英語の授業では、英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をして
いたと思いますか。

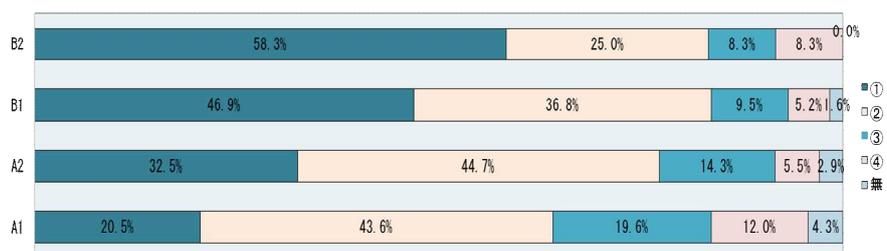
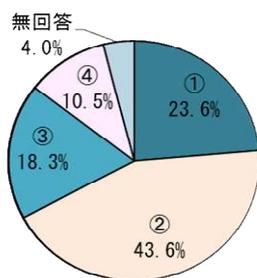
そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「聞くこと」のテスト結果とのクロス

No.11-(2) 第2学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をして
いたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

授業（第2学年）における言語活動の経験

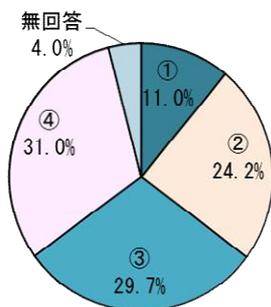
<技能統合型：聞いたり読んだりしたことについての話し合いや意見交換>

聞いたり読んだりしたことについて、英語での話し合いや意見交換をした経験が全体的に少ない（選択肢 ① と ② の合計：35.2%）。

「話すこと」のテストスコアが高い生徒ほど、英語での話し合いや意見交換をした割合（選択肢 ③ 及び ④）が高い。

No. 12-(2) 第2学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見交換をしたりしていたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「話すこと」のテスト結果とのクロス

授業（第2学年）における言語活動の経験

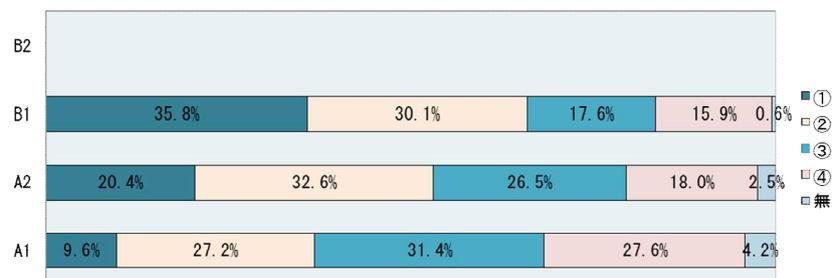
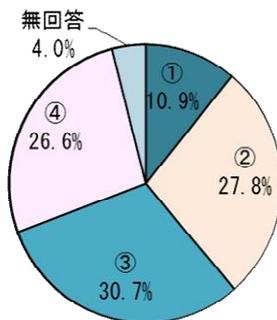
<技能統合型：聞いたり読んだりしたことについて書いてまとめる、自分の考えを書く>

聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりした経験が少ない（選択肢 ① と ② の合計：38.7%）。

「書くこと」のテストスコアが高い生徒ほど、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりした割合（選択肢 ③ 及び ④）が高い。

No. 13-(2) 第2学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



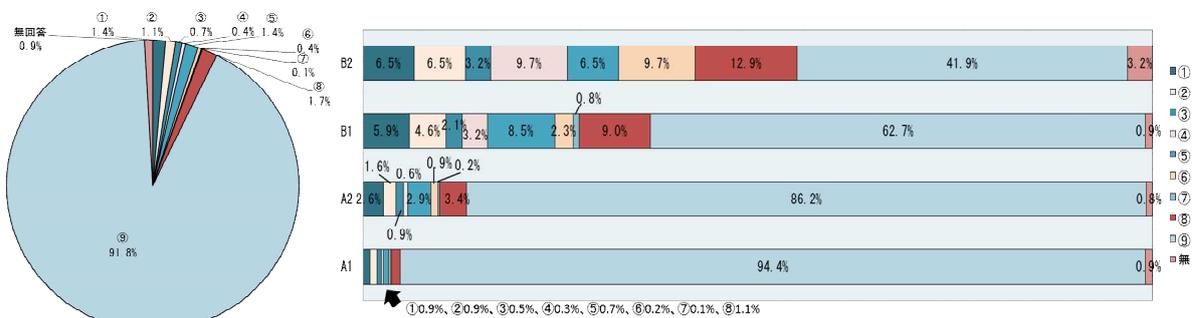
「書くこと」のテスト結果とのクロス

英語を用いた各種活動の経験

高校生になってから、イングリッシュキャンプ、スピーチ・プレゼンテーション・ディベート大会、留学、ホームステイを経験したことがない生徒が多い（選択肢：91.8%）。特に、A1、A2レベルにおいてこの傾向が顕著である（選択肢：A1レベル94.4%、A2レベル86.2%）。

No. 3 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい。

イングリッシュキャンプ 英語のスピーチ大会（校内での予選等は除く） 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選等は除く） 英語のディベート大会（校内での予選等は除く） 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満） 留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ホームステイ（現地の教育機関等で学習した場合を除く） 当てはまるものはない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

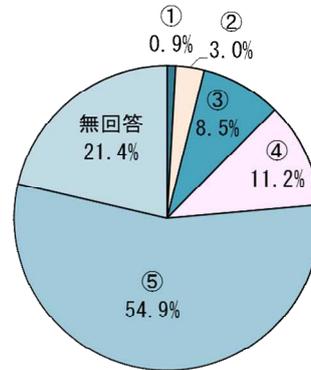
教員質問紙調査結果の主な特徴

授業における英語使用

授業における英語の使用割合が低い(及び無回答を除いた中での と の合計:16.5%)

No. 2-(1) 今年度の第3学年の授業において、あなたはどの程度英語を使用していますか(科目ごとに回答)。ここでは英語 のデータを掲載。

発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)
 発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)
 発話の半分未満を英語で行っている (25%程度以上～50%程度未満)
 あまり行っていない (25%程度未満)
 今年度は当該科目を担当していない



授業における言語活動の指導

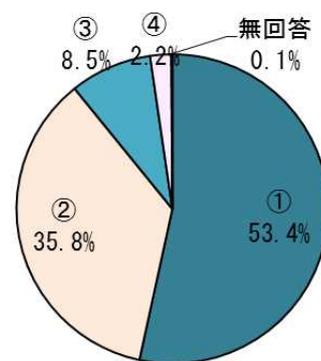
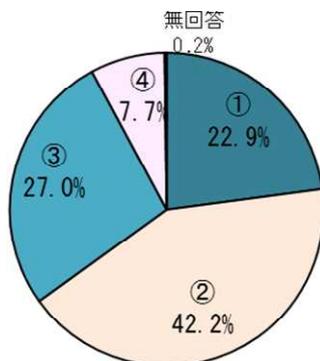
<リスニング・リーディングでの概要・要点把握>

英語を読んだり聞いたりして、概要や要点をとらえる活動をしている教員は多い (選択肢 と の合計:リスニング 65.1%、リーディング 89.2%)

No. 1-(1) 普段の英語の授業において、英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

No. 1-(2) 普段の英語の授業において、英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



授業における言語活動の指導

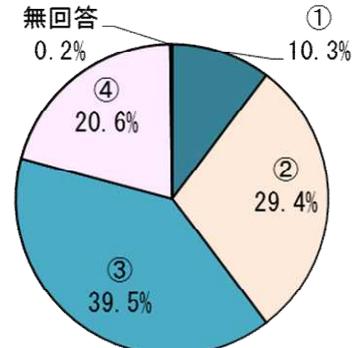
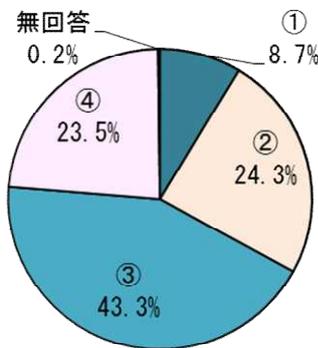
<技能統合型：聞いたり読んだりしたことに基づく話し合いや意見交換・書く活動>

聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合いや意見交換を行っている教員（選択肢 と の合計：33.0%）書く活動を行っている教員（選択肢 と の合計：39.7%）が少ない。

No. 1-(4) 普段の英語の授業において、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。

No. 1-(5) 普段の英語の授業において、聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



授業における言語活動の指導

<技能統合型：スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション>

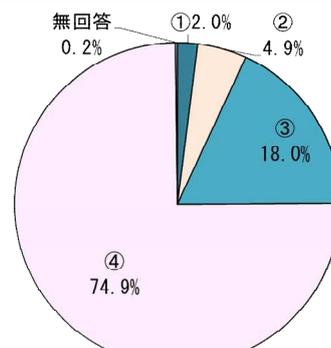
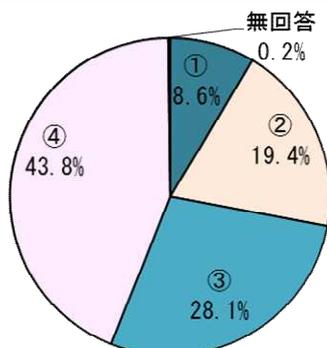
スピーチやプレゼンテーションを行っている教員が少ない（選択肢 と の合計：28.0%）

ディベートやディスカッションを行っている教員が非常に少ない（選択肢 と の合計：6.9%）

No. 1-(13) 普段の英語の授業において、スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。

No. 1-(14) 普段の英語の授業において、ディベートやディスカッションを行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



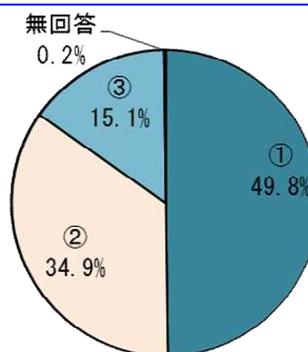
学校質問紙調査結果の主な特徴

学習到達目標としての CAN-DO リストの設定

学習到達目標としての CAN-DO リストは、49.8%の学校では既に技能別の設定が行われており（選択肢 ①）34.9%の学校で今後設定する計画を持っている（選択肢 ②）。

No. 8 生徒の英語力に関して学校が設定する学習到達目標について、能力記述文（CAN-DO statements）で技能別にリスト化していますか。

設定している
今は設定していないが、今後設定する予定である
設定しておらず、今後も設定する予定がない

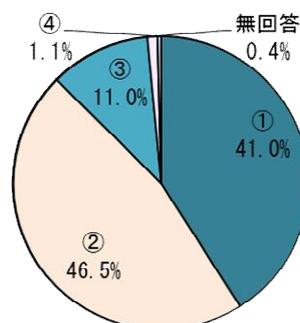


指導目標やその達成に向けた方策の共有

英語科の指導目標やその達成に向けた方策を、全英語科教員の間で共有している学校が多い（選択肢 ① と ② の合計：87.5%）。一方で「あまりしていない」、「ほとんどしていない」学校が12.1%ある。

No. 4 英語科の指導目標やその達成に向けた方策について、全英語科教員の間で共有し、取組にあたっていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない

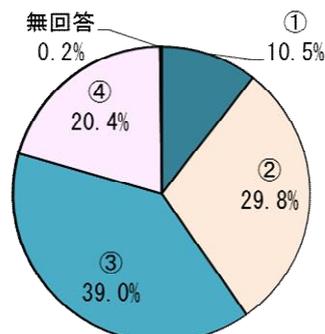


授業以外での国際交流、外国語のコミュニケーション能力育成の取組

授業以外での国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組が不十分な学校が多い（選択肢 ③ と ④ の合計：59.4%）。

No. 5 現在の第3学年の生徒に対して、入学してからこれまで、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか。

よく行った
どちらかといえば、行った
あまり行っていない
ほとんど行っていない

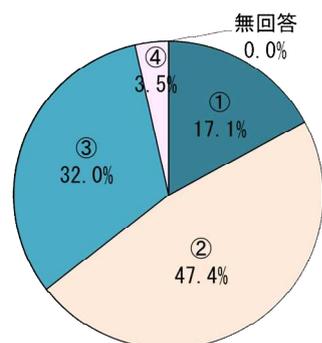


英語教育に関する校内研修

英語教育に関して、模擬授業、授業相互参観などの実践的な研修を行っている学校が半数を上回っている（選択肢 ② と ③ の合計：64.5%）。

No. 1 英語教育に関して、模擬授業、授業相互参観、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない

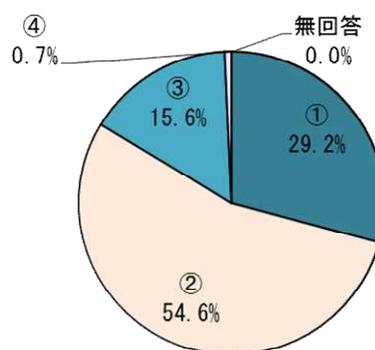


英語教育に関する校外研修への参加

英語教育に関して、教員が学校外の研修に積極的に参加できるようにしている学校が多い（選択肢 ② と ③ の合計：83.8%）。

No. 2 英語教育に関して、教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない



4. 国立学校の技能別調査結果

4技能ともCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)のA2レベルの割合が最も高い。
B1レベルの割合も一定程度あり、「読むこと」は19.3%、「聞くこと」は20.1%、「書くこと」は9.7%、「話すこと」は14.4%となっている。

【国立学校のスコア分布】

<読むこと>				<聞くこと>				<書くこと>				<話すこと>						
CEFR	得点	Reading	割合	CEFR	得点	Listening	割合	CEFR	得点	Writing	割合	CEFR	得点	Speaking	割合			
B2	320	63	3.1%	B2	320	120	3.8%	B2	140	2	0.2%	B1	14	108	14.4%			
	310	15		B1	310	32	20.1%		B1	135			0	9.7%	A2	13	79	45.9%
	300	20			290	39				125			5			12	85	
B1	290	26	280		58	120		27		11	83							
	280	35	270		59	115		35		10	98							
	270	46	260		78	110		116		9	70							
	260	60	250		107	105		121		8	52							
	250	75	240		98	100		272		7	48							
	240	87	230		122	95		188		6	42							
	230	129	220		138	90		354		5	30							
A2	220	148	58.8%		A2	220		138		53.2%	A2	85	209		56.9%	A1	4	20
	210	157		210		171	80	339	3			19						
	200	222		200		186	75	211	2			6						
	190	270		190		157	70	219	1			11						
	180	273		180		198	65	148	0			0						
	170	249		170		231	60	178	平均			9.8						
	160	243		160		207	55	102	調査対象			751						
	150	221		150		206	50	116	0点			0	0.0%					
140	214	140	177	45	72	A1	33.3%											
A1	130	203	18.8%	A1	130			170	40	71								
	120	159			120			158	35	48								
	110	112			110			118	30	56								
	100	56			100			90	25	35								
	90	35			90			52	20	32								
	80	10			80			48	15	16								
	70	6			70			25	10	33								
	60	2			60			15	5	24								
	50	1			50			7	0	116								
	40	1			40	5	平均	75.3										
30	1	30	3	調査対象	3,148													
20	1	20	3	0点	80	2.5%												
10	0	10	5	平均	185.1													
0	3	0	20	調査対象	3,143													
平均	185.1	平均	187.0	平均	187.0													
調査対象	3,143	調査対象	3,143	調査対象	3,143													

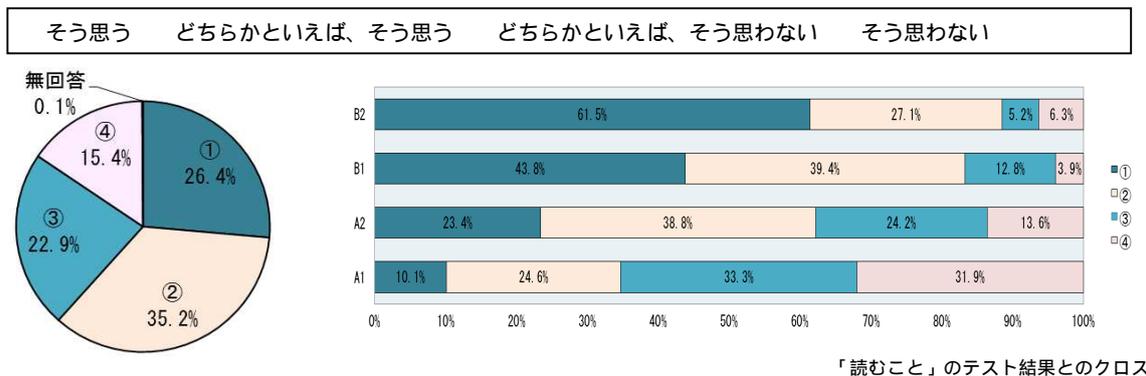
5. 国立学校の質問紙調査結果

生徒質問紙調査結果の主な特徴

英語学習に対する意識

英語の学習が好きな生徒が半数を上回る（選択肢 ① と ② の合計：61.6%）。特に、B2、B1 レベルにおいてこの傾向が顕著である。

No. 1 英語の学習は好きですか。最も当てはまる選択肢を1つ選んでください。



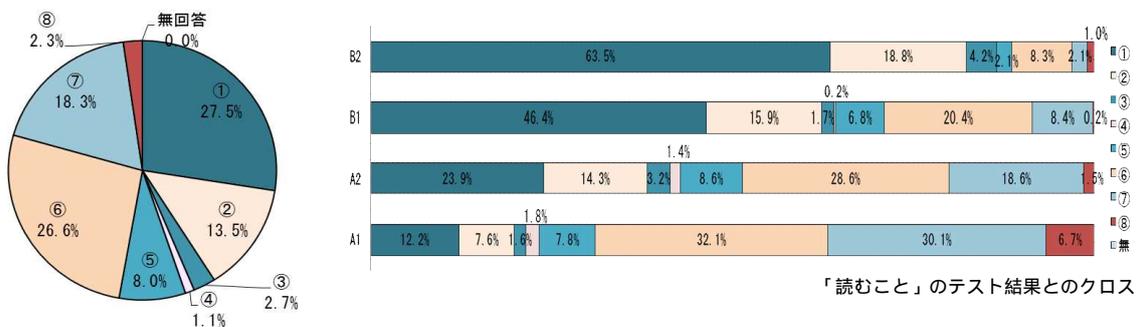
将来の英語使用のイメージ

将来の英語使用のイメージが、現在の英語力のレベルによって異なる。

B2、B1 レベルなど英語力が高い生徒ほど、英語を職業（選択肢 ①）や学問（選択肢 ②）と結びつけたものとして認識している。

No. 2 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

英語を使って、国際社会で活躍できるようになりたい 大学で自分が専攻する学問を英語で学べるようになりたい 高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい 高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい 海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい 海外旅行などをするときに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい 大学入試に対応できる力をつけたい 特に学校の授業以外での利用を考えていない



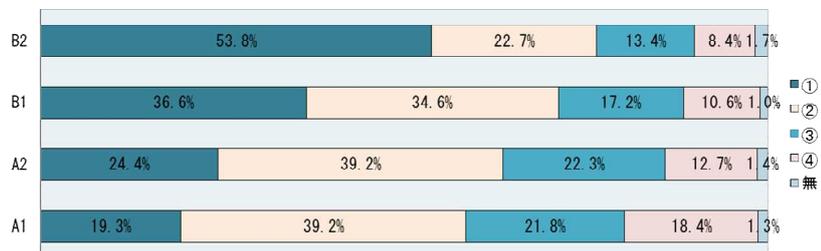
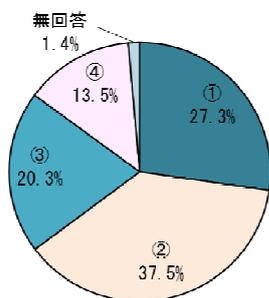
授業（第2学年）における言語活動の経験

<リスニング・リーディングでの概要・要点把握>

英語を聞いたり読んだりして、概要や要点をとらえる活動をしていた生徒は半数を上回る（選択肢 と の合計：リスニング 64.8%、リーディング 78.9%）。

No. 10-(2) 第2学年の英語の授業では、英語を聞いて、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をして
いたと思いますか。

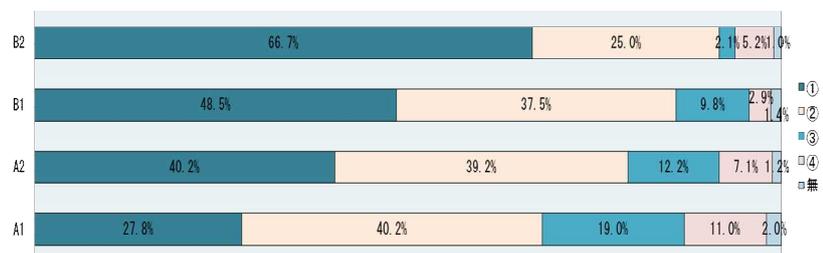
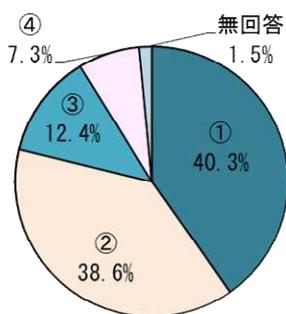
そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「聞くこと」のテスト結果とのクロス

No. 11-(2) 第2学年の英語の授業では、英語を読んで、（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をして
いたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

授業（第2学年）における言語活動の経験

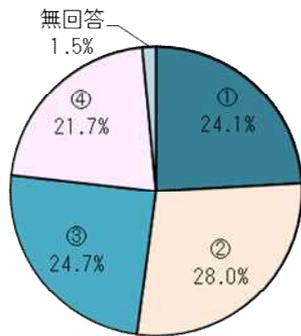
<技能統合型：聞いたり読んだりしたことについての話し合いや意見交換>

聞いたり読んだりしたことについて、英語での話し合いや意見交換をしていた生徒が半数を上回る（選択肢 ① と ② の合計：52.1%）。

「話すこと」のテストスコアが高い生徒ほど、英語での話し合いや意見交換をした割合（選択肢 ① 及び ②）が高い。

No. 12 (2) 第2学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



「話すこと」のテスト結果とのクロス

授業（第2学年）における言語活動の経験

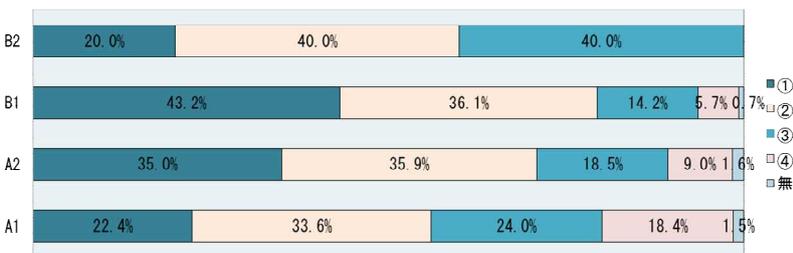
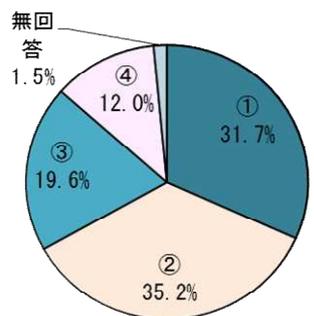
<技能統合型：聞いたり読んだりしたことについて書いてまとめる、自分の考えを書く>

聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていた生徒が多い（選択肢 ① と ② の合計：66.9%）。

「書くこと」のテストスコアが高い生徒ほど、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりした割合（選択肢 ① 及び ②）が高い。

No. 13-(2) 第2学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いたりまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない



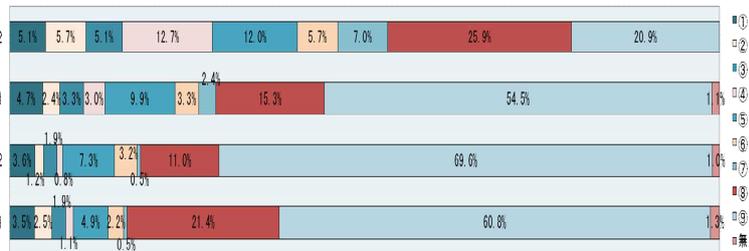
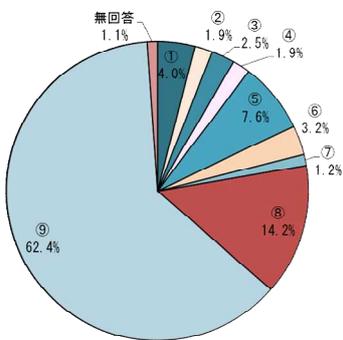
「書くこと」のテスト結果とのクロス

英語を用いた各種活動の経験

高校生になってから、イングリッシュキャンプ、スピーチ・プレゼンテーション・ディベート大会、留学、ホームステイを経験したことがない生徒が半数を上回る（選択肢：62.4%）。特に、A1、A2 レベルにおいてこの傾向が顕著である（選択肢：A1 レベル 60.8%、A2 レベル 69.6%）。

No. 3 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい。

イングリッシュキャンプ 英語のスピーチ大会（校内での予選等は除く） 英語のプレゼンテーション大会（校内での予選等は除く） 英語のディベート大会（校内での予選等は除く） 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） 留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満） 留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ホームステイ（現地の教育機関等で学習した場合を除く） 当てはまるものはない



「読むこと」のテスト結果とのクロス

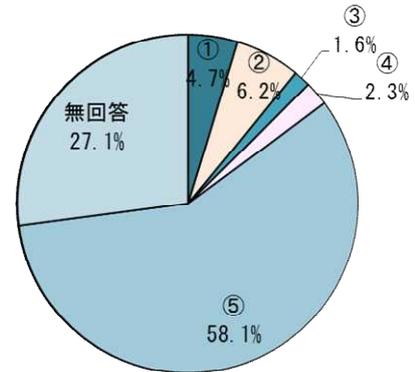
教員質問紙調査結果の主な特徴

授業における英語使用

授業における英語の使用割合が高い(及び無回答を除いた中での と の合計:73.6%)

No. 2-(1) 今年度の第3学年の授業において、あなたはどの程度英語を使用していますか(科目ごとに回答)
ここでは英語 のデータを掲載。

発話をおおむね英語で行っている
(75%程度以上~)
発話の半分以上を英語で行っている
(50%程度以上~75%程度未満)
発話の半分未満を英語で行っている
(25%程度以上~50%程度未満)
あまり行っていない (25%程度未満)
今年度は当該科目を担当していない



授業における言語活動の指導

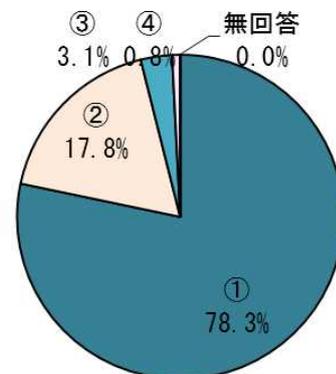
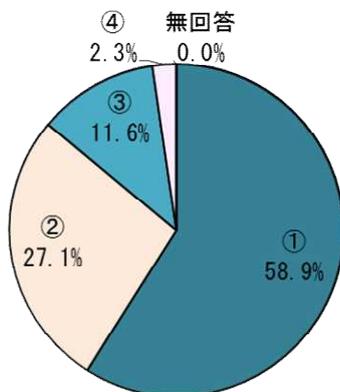
<リスニング・リーディングでの概要・要点の把握>

英語を読んだり聞いたりして、概要や要点をとらえる活動をしている教員は多い
(選択肢 と の合計:リスニング 86.1%、リーディング 96.1%)

No. 1-(1) 普段の英語の授業において、英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

No. 1-(2) 普段の英語の授業において、英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



授業における言語活動の指導

<技能統合型：聞いたり読んだりしたことに基づく話し合いや意見交換・書く活動>

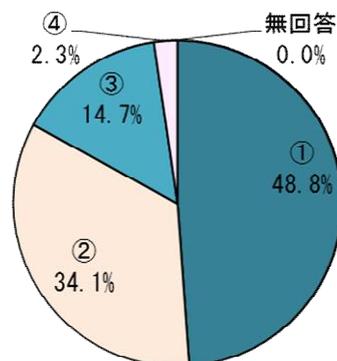
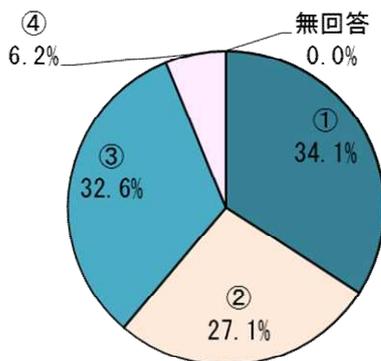
聞いたり読んだりしたことに基づく、情報や考えなどについて、話し合いや意見交換を行っている教員が比較的多い(選択肢 ① と ② の合計：61.2%)。

聞いたり読んだりしたことに基づく、情報や考えなどについて、書く活動を行っている教員がかなり多い(選択肢 ① と ② の合計：82.9%)。

No. 1-(4) 普段の英語の授業において、聞いたり読んだりしたことに基づく、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。

No. 1-(5) 普段の英語の授業において、聞いたり読んだりしたことに基づく、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



授業における言語活動の指導

<技能統合型：スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション>

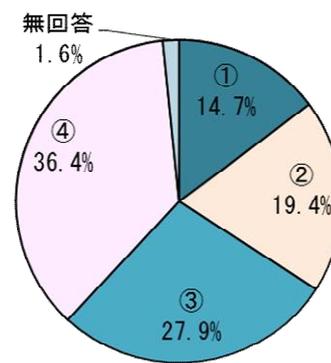
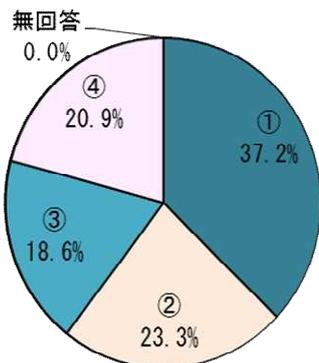
スピーチやプレゼンテーションを行っている教員が比較的多い(選択肢 ① と ② の合計：60.5%)。

ディベートやディスカッションを行っている教員が少ない(選択肢 ① と ② の合計：34.1%)。

No. 1-(13) 普段の英語の授業において、スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。

No. 1-(14) 普段の英語の授業において、ディベートやディスカッションを行っていますか。

よくしている どちらかといえば、している あまりしていない ほとんどしていない



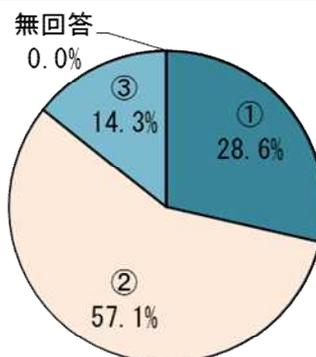
学校質問紙調査結果の主な特徴

学習到達目標としての CAN-DO リストの設定

学習到達目標としての CAN-DO リストは、28.6%の学校では既に技能別の設定が行われており（選択肢 ①） 57.1%の学校で今後設定する計画を持っている（選択肢 ②）。

No. 8 生徒の英語力に関して学校が設定する学習到達目標について、能力記述文（CAN-DO statements）で技能別にリスト化していますか。

設定している
今は設定していないが、今後設定する予定である
設定しておらず、今後も設定する予定がない

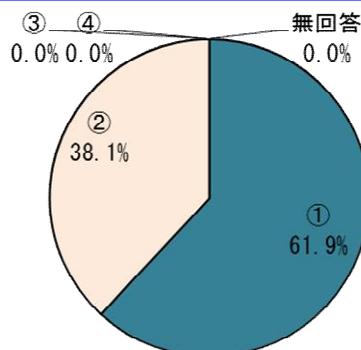


指導目標やその達成に向けた方策の共有

英語科の指導目標やその達成に向けた方策を、全英語科教員の間でほぼ共有している（選択肢 ① と ② の合計 100%）。

No. 4 英語科の指導目標やその達成に向けた方策について、全英語科教員の間で共有し、取組にあたっていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない

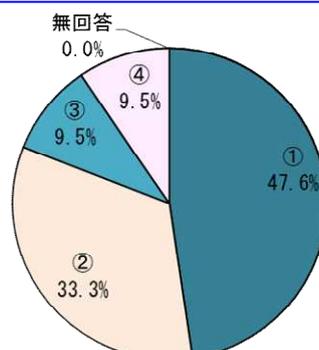


授業以外での国際交流、外国語のコミュニケーション能力育成の取組

授業以外での国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組が進んでいる（選択肢 ① と ② の合計 80.9%）。

No. 5 現在の第3学年の生徒に対して、入学してからこれまで、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか。

よく行った
どちらかといえば、行った
あまり行っていない
ほとんど行っていない

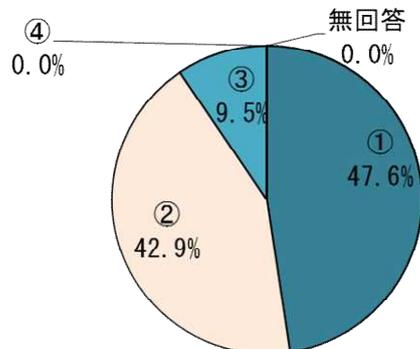


英語教育に関する校内研修

英語教育に関して、模擬授業、授業相互参観などの実践的な研修を行っている学校がほとんどである（選択肢 と の合計：90.5%）。

No. 1 英語教育に関して、模擬授業、授業相互参観、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない



英語教育に関する校外研修への参加

英語教育に関して、教員が学校外の研修に積極的に参加できるようにしている学校がほとんどである（選択肢 と の合計 95.2%）。

No. 2 英語教育に関して、教員が、他校や外部の研究機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか。

よくしている
どちらかといえば、している
あまりしていない
ほとんどしていない

